共愛学園前橋国際大学６号館 竣工

共愛コ・イノベーションハブ

理事長
須田　洋一

学園長
大川　義

共愛学園設立140周年記念事業の一環として、このたび大学6号館が竣工いたしました。これもひとえに、同窓会、保護者会、賛助会ならびに地域の皆様のご支援の賜物であり、心より御礼申し上げます。

竣工した6号館は、本学に新設された学部の学びの拠点となります。本記念事業では、この新学部の設置に加え、前橋市街地への義務教育学校の新設、高校における新教育課程の導入、各部門の設備整備などを進めております。これらの取り組みを通じて、共愛学園設立150年、200年と先を見据え、園児・児童・生徒・学生の教育環境のさらなる充実と地域創生への貢献を目指してまいります。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

共愛学園前橋国際大学
KYOAI GAKUEN UNIVERSITY

入試に関するお問い合わせ　0120-5931-37　大学代表　027-266-7575

文部科学省
「成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金による継続的支援」に採択されました

本事業は、デジタル・グリーンなどの成長分野をけん引する高度専門人材の育成に向け、大学などが学部転換などの改革に取り組めるよう、基金により安定的・継続的な支援を行うものです。本事業には「特定成長分野への学部転換等（支援１）」と「高度情報専門人材の確保（支援２）」があり、本学は「支援１」に採択されました。

本学では、この事業において、前橋市や群馬県のデジタルイノベーションによるウェルビーイングな社会づくりと連動し、「デジタル技術についての見識を活かし、他者と共にウェルビーイングな社会を創造できる人材」、すなわち「デジタル共創人材」の育成を目指します。

その実現に向け、入学定員100人（収容定員400人）の「デジタル共創学部」を2026年４月に開設しました。本学部では、情報科学・情報工学に基づくデジタル技術を学ぶ「DXモジュール」を基盤とし、「ICTモジュール」「マネジメントモジュール」「食・健康・暮らしモジュール」という学びの３領域を提供するとともに「共愛・共生の精神」という理念の下、本学がこれまで培ってきた「他者と協働するための知識・態度」を身に付けます。

既存の国際社会学部とともに、文理融合の大学へと発展する本学の今後にご期待ください。

共愛学園前橋国際大学６号館（KYOAI Co-INNOVATION HUB）の完成をお祝い申し上げます　（順不同）

■設計・監理
SALHAUS 株式会社 SALHAUS
共同代表　日野 雅司・栃澤 麻利・安原　幹
東京都千代田区神田猿楽町1-5-1 豊島屋本店ビル5F　℡03-5577-3242

■施工
TSUKAMOTO 塚本建設株式会社
代表取締役　塚本　毅
藤岡市小林402　℡0274-23-1151

■機械設備工事
HARIGAI 針谷工事株式会社　高崎市新町2330-5　℡0274-42-0449
代表取締役社長　針谷　一

■電気設備工事
Sowa DELIGHT 株式会社 ソウワ・ディライト　前橋市小屋原町722-1　℡027-266-6711
代表取締役社長　渡邉 辰吾

■鉄骨工事　㈱秋山工業　藤岡市本郷1972-2　℡0274-22-3774
■屋根・外壁・金属工事　㈱ナガタ　藤岡市鬼石524　℡0274-52-3171
■造園工事　㈱群馬清風園　前橋市関根町1-7-14　℡027-231-3863
■コンクリート工事　相模建設㈱　高崎市上並榎町206-5　℡027-361-2087
■外構工事　㈱たかはし　藤岡市白石1651-18　℡0274-23-3611
■備品・什器工事　㈲近藤金庫店　高崎市八島町20番地 KSビル4F　℡027-323-4601
■鋼製建具・硝子工事　高崎トーヨー住器㈱　高崎市浜川町1988-3　℡027-343-1864
■鉄筋工事　㈱塚越鉄筋工業　埼玉県児玉郡上里町大字三町598-1　℡0495-33-5120
■仮設リース　群馬事務器㈱　藤岡市藤岡685-11　℡0274-24-2144
■掘重　㈲オール・ステージ・グンマ　藤岡市上大塚369-4　℡0274-24-1511
■型枠工事　㈱飯島工務店　埼玉県本庄市児玉町児玉206-23　℡0495-71-7318
■仮設工事　㈱旭コーポレーション　高崎市鼻野町1012-1　℡027-381-8433
■タイル工事　㈱小林タイル　高崎市上大類町1016　℡027-352-3991
■耐火・断熱工事　㈱群工　高崎市飯塚町462-1 NEXTビル　℡027-361-7411
■防水工事　石田建材工業㈱　高崎市上中居町684　℡027-327-3301
■左官工事　㈱育栄工材　伊勢崎市波志江町1924-2　℡0270-24-4879
■木工事　㈱建築ウエハラ　高崎市箕郷町柏木沢640-7　℡027-371-8076
■内装工事　㈲古浦産業　埼玉県本庄市児玉町児玉南1-10-24　℡0495-73-3955
■内装仕上工事　㈱愛美堂　前橋市天川大島町1100-20　℡027-261-2766
■塗装工事　㈱栄塗技建　高崎市問屋町西1-5-5　℡027-384-3848
■家具工事　㈱ホタカ　沼田市下之町871-2　℡0278-23-4408
■椅子工事　㈱前橋大気堂　前橋市本町2-2-16　℡027-231-1661
■サイン工事　㈱ビッグファイブ　高崎市若田町11-4　℡027-343-9080
■土工事・地業　丸二工業㈱　高崎市柴崎町1169　℡027-352-0202
■コンクリート打　群馬中央生コン㈱　前橋市芳井町456-11　℡027-266-3544
■解体工事　大和建設㈱　高崎市寺尾町1777　℡027-325-5575
■コンクリート圧送　㈱木暮産業　高崎市若田町146-1　℡027-344-3231

6号館新設

共愛学園前橋国際大学 学長 **大森 昭生** 対談 SALHAUS 共同代表 東京電機大学教授 **日野 雅司**氏

地域とつながる「ハブ」

共愛学園前橋国際大学はデジタル共創学部の新設に併せて６号館「共愛コ・イノベーションハブ」を建設した。木の温かみを感じさせる空間に、実験室やキッチンスタジオなど多彩な分野のＤＸを学べる設備が整う。設計した日野雅司さんと同大学の大森昭生学長に、６号館に込めた思いを語ってもらった。

■初の理系学部

―６号館を建設した経緯は。

大森　国の支援を受けて、デジタル共創学部を４月に新設した。初めて理系の学部を設置するにあたり、教室の数だけを考えれば既存の校舎で十分だったが、カリキュラム内容に即した機能を持った教室が必要だし、新たな教員の研究スペースも確保しなければいけないため新校舎の建設を決めた。これまで本学は新たなチャレンジの節目に、４号館「共愛コモンズ」、５号館「共愛グローカルゲートウエイ」と、設計士にオリジナリティーあふれる提案をしてもらうプロポーザル方式で校舎を建ててきて非常にうまくいった。成功体験を踏まえて今回もプロポーザル方式を採用した。

―提案の主なポイントを教えてほしい。

日野　１階中央部分の三つまたの通路、コラボレーションプラザ＝写真❶＝は実験室やホールなどが面し、さまざまなコラボレーションや分野を横断した活動を誘発する空間であるとともに、キャンパス全体の広場のような場所と位置付けている。学生がここを通過して駐車場や４号館、５号館、体育館へと向かう。キャンパスに新たな回遊性を生み出せるのではないか。

■穏やかな空間で心豊かに

―群馬県産のスギやクリなど木材をふんだんに使っている。

日野　理系の学生は同じ場所にいる機会が増えるので居心地が大事になる。木とコンクリートや鉄をハイブリッドした構造を採用＝写真❷＝し、居心地と将来的な設備更新のしやすさの両立を目指した。

大森　ウェルビーイングな社会をつくるためにデジタルを学ぶ学部なので、学びの場もウェルビーイングである必要がある。建物に入った瞬間、自然の豊かさや温かみが感じられ、丸みを帯びたデザインもあって緊張が解けていく感覚になる。人と人とをつなぐデジタルを学ぶ学生たちには、穏やかな空間の中で心豊かに学んでほしい。

―本格的なキッチンスタジオ＝写真❸＝、大型LEDスクリーンを備えたホールなど設備が充実している。ガラス張りのプロジェクトルームも目を引く。

大森　キッチンスタジオを置いたのは、カリキュラムの中で食・健康・暮らしを扱うモジュール（科目群）を設定したから。実際に調理をしないと食は学べない。デジタルを学ぶ学部にキッチンがあることに驚かれるかもしれないが、フードテックは世界の潮流であり当然学ぶべき最先端の領域だと捉えている。群馬の山の名前を冠したプロジェクトルームが四つある。例えば、学生たちがくんまプログラミングアワード（GPA）に向けて１カ月借り切って実験や作業をする時に使ってもらう。周囲から中が見えるようにガラス張りにしたのは、視線が交わることで互いに刺激し合い、高め合う効果があるからだ。

■新しいもの生む場に

―大学に期待することは。

日野　設計者としては６号館をキャンパス全体の広場のような場所として使っていただきたいと思う一方、われわれが思ってもみなかったように使っていただくとうれしい。私も工学系大学の教員だが、専門性は高いものの社会とつながりながら課題を発見することはうまくできていないと周囲を見て感じる。デジタル共創学部は、理系の内向きなイメージを覆して新たなものをどんどん生み出してくれるのではと、大学人の一人として非常に期待している。

―新たな学部が設置され、新しい校舎も完成した。どのような大学を目指していくのか。

大森　「10年後の大学像は」とよく聞かれるが、それを考えること自体が今の時代に即していない。学生には予測困難な時代だから、自ら学び直しをして、自分で課題を設定し、仲間を集めてそれを解決できる人材になってほしいと呼びかけている。大学という組織も同じだと思う。こうした時代には組織全体がしなやかさ、柔軟性を持ったチームであることが非常に重要で、われわれは社会の変化に対応して求められる学びを常に提供し続けることが使命だと思っている。だからこそ常に地域社会をはじめとする他者とつながり続けることが生命線になる。６号館の名称に「ハブ」というワードを入れたのは、これからの社会を生きる学生に必要な視点であり、大学としても時代に必要とされ続けるために重要な視野だと考えるからだ。

コミュニケーションプラザと２階をつなぐ大階段で語り合う大森学長（左）と日野氏

おおもり・あきお　1968年、仙台市生まれ。東北学院大大学院修了。96年共愛学園に入職。2016年から現職。全国の学長が注目する学長ランキングで５年連続１位。中央教育審議会大学分科会委員ほか公職多数。

ひの・まさし　1973年、兵庫県生まれ。東京大大学院修了。2008年、設計事務所「SALHAUS」設立。25年から東京電機大学教授。群馬県農業技術センター（伊勢崎市）で第55回BCS賞を受賞。

未来の社会創る人材を

デジタル共創学部

共愛学園前橋国際大学は４月、県内の私立大学では初となるデジタル系の理系学部「デジタル共創学部」を開設した。専門性を深める最先端のカリキュラムを通じて、社会課題の解決に貢献できるデジタル人材の育成を目指す。指導に当たる國領二郎副学長と村山賢哉学部長に教育内容などについて聞いた。

約140㌅のモニターを備えたホールで語り合う國領副学長（左）と村山学部長

共愛学園前橋国際大学 副学長 **國領 二郎** 対談 共愛学園前橋国際大学 デジタル共創学部長 **村山 賢哉**

■地域課題を解決

―デジタル共創学部を設置した経緯は。

村山　企業のデジタル人材へのニーズの高まりが背景にあるこれまでも国際社会学部情報・経営コースでデジタルに長けた人材を養成してきたが、社会のデジタル化が急速に進む中、レベルの高い人材をより多く送り出す体制を整えることになった。国が理系人材の育成を推進していることもあり、社会に求められる人材の育成を使命とする本学がデジタル人材を養成する理系の専門学部を設置するのは自然な流れだった。

國領　デジタル人材の育成は群馬だけでなく日本全体で求められている。地方大学は地域課題を拾い上げて解決を図る組織でなければならない。本学はそうした取り組みをこれまでもやってきたし、そうした姿勢を備えてきたからこそ、世界中で取り組まれている人材を輩出しようと地域ニーズに合わせた教育内容を考えたデジタル技術を専門的に学ぶ４つのモジュール（科目群）に加え、食産業が群馬の製造業では各国に大きな産業であり、前橋がクリエイティング分野が盛んなことを踏まえ、食と健康、暮らしを扱うモジュールを設計した。國領副学長らも初め素晴らしい先生方が本学で指導することが決まり、より高いレベルの教育を提供できると考え、カリキュラムをアラジャンプした。最先端を群馬で学び、最先端を群馬から発信するそのような学部教育ができると思っている。

―デジタル系の理系学部は県内の私学で前例がないが、どんな教育を行うのか。

村山　地域で求められている人材を輩出しようと、地域ニーズに合わせた教育内容を考えたデジタル技術を専門的に学ぶ４つのモジュール（科目群）に加え、食産業が群馬の製造業では各国に大きな産業であり、前橋がクリエイティング分野が盛んなことを踏まえ、食と健康、暮らしを扱うモジュールを設計した。國領副学長らも初め素晴らしい先生方が本学で指導することが決まり、より高いレベルの教育を提供できると考え、カリキュラムをアラジャンプした。最先端を群馬で学び、最先端を群馬から発信するそのような学部教育ができると思っている。

―デジタル共創学部は、地域の課題をどう解決するのか。

國領　地域課題を解決するテクノロジーをつくったり、人材を育成したりする取り組みをこれまでもやってきたし、世界中で取り組まれている最先端の理系学部「デジタル共創学部」を開設した。専門性を深める最先端のカリキュラムを通じて、社会課題の解決に貢献できるデジタル人材の育成を目指す。指導に当たる國領二郎副学長と村山賢哉学部長に教育内容などについて聞いた。

村山　企業のデジタル人材へのニーズの高まりが背景にあるこれまでも国際社会学部情報・経営コースでデジタルに長けた人材を養成してきたが、社会のデジタル化が急速に進む中、レベルの高い人材をより多く送り出す体制を整えることになった。国が理系人材の育成を推進していることもあり、社会に求められる人材の育成を使命とする本学がデジタル人材を養成する理系の専門学部を設置するのは自然な流れだった。

國領　デジタル人材の育成は群馬だけでなく日本全体で求められている。地方大学は地域課題を拾い上げて解決を図る組織でなければならない。本学はそうした取り組みをこれまでもやってきたし、そうした姿勢を備えてきたからこそ、世界中で取り組まれている最先端の理系学部「デジタル共創学部」を開設した。専門性を深める最先端のカリキュラムを通じて、社会課題の解決に貢献できるデジタル人材の育成を目指す。指導に当たる國領二郎副学長と村山賢哉学部長に教育内容などについて聞いた。

■最先端を群馬で

―デジタル系の理系学部は県内の私学で前例がないが、どんな教育を行うのか。

村山　地域で求められている人材を輩出しようと、地域ニーズに合わせた教育内容を考えたデジタル技術を専門的に学ぶ４つのモジュール（科目群）に加え、食産業が群馬の製造業では各国に大きな産業であり、前橋がクリエイティング分野が盛んなことを踏まえ、食と健康、暮らしを扱うモジュールを設計した。國領副学長らも初め素晴らしい先生方が本学で指導することが決まり、より高いレベルの教育を提供できると考え、カリキュラムをアラジャンプした。最先端を群馬で学び、最先端を群馬から発信するそのような学部教育ができると思っている。

―デジタル系の理系学部は県内の私学で前例がないが、どんな教育を行うのか。

村山　地域で求められている人材を輩出しようと、地域ニーズに合わせた教育内容を考えたデジタル技術を専門的に学ぶ４つのモジュール（科目群）に加え、食産業が群馬の製造業では各国に大きな産業であり、前橋がクリエイティング分野が盛んなことを踏まえ、食と健康、暮らしを扱うモジュールを設計した。國領副学長らも初め素晴らしい先生方が本学で指導することが決まり、より高いレベルの教育を提供できると考え、カリキュラムをアラジャンプした。最先端を群馬で学び、最先端を群馬から発信するそのような学部教育ができると思っている。

■最先端を群馬で